

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(4/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	正	4.1	4.0 <u>進捗度</u> ・特区支援制度活用による医薬品・医療機器関連設備投資額 98% ・特区支援制度活用による医薬品・医療機器の薬事申請数 100% ・関西のリチウムイオン電池等新型蓄電池の輸出額 102% 等	4.2 <u>規制の特例等</u> ・医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化 等 <u>財政支援等</u> ・先端・先制医療技術に関する審査・評価プラットフォームの構築 等 <u>地域独自の取組</u> ・「大阪バイオファンド」によるベンチャー支援 等	4.0	<p>・ライフ分野では実績が上がっているが、グリーン分野(関西の太陽電池の生産量等)での実績は見劣りがする。計画を再検討する必要はないか。</p> <p>・幅広い金融、財政政策に取り組んでいるものの、事業開発に関する総合的な取り組みについても説明が必要となる。</p> <p>・地域独自の財政支援が盛んであるが、漸減傾向がみられず、将来の自律に疑問が持たれる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。